

# 12月定例会終わる

12月9日から19日まで、11日間の日程で開きました。

(株)フロンティアあかぎを指定管理者にしている「飯南町ふるさと森」(旧県民の森)の契約が今年度末に終了するに伴い、松江市の(株)ラウを指定管理者とする議案が提出されました。

応募者は(株)ラウ以外に2者でした。宿泊施設「もりのす」の活用方針がレストラン・宴会・パーティー・宿泊など具体的であったため、(株)ラウに指定したいという内容で、指定管理料は年間1800万円を上限とし、指定期間5年とするものです。

過去、町内の宿泊施設を指定管理した会社(本社・東京都)の経営方針が施設活性化につながらなかったことを踏まえ、経営実態のつかみにくい町外の業者への指定を審査するにあたり、特に慎重になりました。

(株)ラウのこれまでの実績(大田市の福光海岸レストラン「ピララウ」・雲南市の出雲湯村温泉「オーベルジュ雲南」などの管理状況)を精査し、可決しました。

## 「可決された主な議案」

### ■認定

平成25年度飯南町各会計歳入歳出決算認定

### ■承認

平成26年度飯南町一般会計補正予算(第6号)

### ■条例関係

飯南町の一般職の任期付職員採用等に関する条例の制定など8件

### ■補正予算

平成26年度飯南町一般会計補正予算(第7号)など6件

### ■諸議案

公の施設(飯南町ふるさと森)の指定管理者の指定など2件

## 年頭の「あいさつ」

飯南町議会議長 難波俊司



新年明けましておめでとうございます。皆様にとって、昨年ほど賑やかな年ではなかったでしょうか。

多くの死傷者や甚大な被害をもたらす自然災害が全国で多発しておりますが、本町では大きな災害もなく安堵しております。しかし災害予測は難しく、日頃からの防災対策が重要です。

さて、本町の基幹産業である農業。今回の米価下落は、生産者にこれまでにない大きな打撃を与えました。既に今年の米作りの準備は始まっていますが、米価の今後の予測もできかねます。国・県・町・JAなど、農業関係者が一体となって、本腰を入れて取り組まなければ、本町の農業はもとより、日本の農業(稲作)衰退が急速に進んでいくと懸念され、生産意欲が湧く抜本的対策が急がれます。また、水清らかで豊かな自然に恵まれた条件を活かした、特産品開発も必要です。

本町発展のため、議会は全力を傾注してまいります。皆様のご指導、ご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。皆様のご多幸、ご健勝をお祈りして、年頭のごあいさつとします。

## 【平成26年度 一般会計補正予算】

公債費長期債線上償還、ふるさと応援基金積立、赤名小学校大規模改修設計事業ほか

1億6865万円増額

各会計	補正予算額	予算総額
一般会計	1億6865万円	88億4164万円
特別会計	国民健康保険事業	6億9137万円
	介護保険サービス事業	2691万円
	簡易水道事業	3億5742万円
	下水道事業	4億2225万円
	病院事業会計	11億3779万円